

## 令和4年度事業 報告書

### 《町づくり協議会》

#### ● 会議

運営会議：運営役員12名で毎月開催することができた。総会で承認された事業を具体的に事務局が提案し、運営会議において議論し必要な修正を行い、自治会長会議の報告資料を作成することができた。

会計監査：たくさんの領収書と帳簿を二日間にかけて丁寧に監査いただいた。

総会：自治会評議による定例総会を無事行うことができた。

自治会長会議：第2回自治会長会議では、初めて各町内の班長（組長）にも同席いただいで会議を行うことができた。実際には全員の班長の出席は叶わなかったが、有意義な時間を作ることができたように感じた。次年度以降も継続していきたい。

都野津支会理事会：年間2回の定例理事会を開催できた。

オレンジ会議：町の課題を抽出するということ、見守りナースを中心に可能になったと考えている。しかし、その課題を第1層協議体へつなげる手段がないのが実情であった。その仕組みが、社会福祉協議会が作る第2層協議体（生活支援コーディネーター）。残念なことに、地域課題について「民児協」と共有を考えたが実現に至っていない。

子ども会議（AJM・JuM）：つのみやっこ広場に来ている5年生を中止のとした子どもたちが活動している。

#### ● 環境整備

市民一斉清掃：秋の川掃除：海浜清掃：大工屋川土砂撤去作業依頼：地域環境整備：

施設環境整備：年末大掃除：

予定したすべての事業を行うことができた。

#### ● 交通安全

春の交通安全運動：4月第1週 秋の交通安全運動：9月第3週

青色パトロール：

交通安全運動は予定通り行った。都野津青パト隊員は他地区に比べて若い、その弊害としてイベント事業には参加しづらい。半面日々の活動は、それぞれの都合で行っている。

#### ● 防災事業（環境防災部・支会）

自主防災組織の整備：防災デー：

防災デーを2回行うことができた。

#### ● 広報

あぷりこ：ホームページ：防災無線情報：回覧作成：

防災無線情報発信は、江津市担当課より定期放送は取りやめるように指導された。

#### ● 行事（実行委員会）

納涼盆踊り：敬老会（支会事業）：運動会：文化祭（活動報告・展示会）：年賀会：

敬老会事業は、昨年同様に祝い金配布ということになった。その他の行事は、コロナ禍で中止となった。行事の見直しアンケートをとり次年度の行事に反映させる。

事業

《健康づくり・人権》(市政策枠交付金)

いきいき百歳体操：ポールエクササイズ：食生活改善事業：人権研修：つのづすまいる教室：人権研修は、「笑みサポーター養成講座」を定期開催することができた。

町づくり部(独自事業交付金)

《見守り・居場所》

歌声喫茶：あったかカフェ：ようこそ都野津へ：居場所開発支援：見守り隊：あぷりこお楽しみバス：憩い食堂：

歌声喫茶とあったかカフェは安定した開催が行われた。ようこそ都野津と居場所開発は、都野津支会事業と合同開催で行うことができた。

《人づくり》

あぷりこスクール：つのみやっこ広場：通学合宿：AJM：

通学合宿は残念ながらコロナ禍の為今年も実施できなかった。

《町おこし》

生誕祭(準三郎を語る会)：つのづエントランス：都野津発見

佐々木準三郎記念館を中心に、津宮小学校のこども達に都野津の歴史と都野津恩人「佐々木準三郎」氏について伝えることができた。

## 《都野津支会》

➤ 今年度もコロナではあったが、憩い食堂を予定通り実施することができた。

7月のこどもまつりは内容を大幅に変更しての開催ではあったが、全面中止ということなくコロナ感染を可能な限り回避する手段を事務局で検討し実施するという判断は、以降の事業実施に向けての指針にもなった。

➤ 家庭菜園勉強会を地域要望に応じて久しぶりに実施できた。

「笑みサポーター養成講座」、町づくり協議会の最大の目的に向けての事業が「笑みサポーター」養成に集約されていくものと感じる。

➤ 中断していたオレンジ会議(地域課題のケース会議)が、環境の変化によっての再開が期待できる。令和5年度4月3日に地域包括支援センターと町づくり協議会・担当民生委員・地域キーパーソンの出席によって実現した。

➤ 歳末声掛け訪問は、初めて自治会長の参加がなかった。

➤ 都野津町づくり協議会は、自治会・社協・健康づくり等々、同じ目的を持っている関係団体を集約してきた。一つの事業に複数の費用を合理的に利用することによって、同じ町民による会費及び募金の還元の仕組みが理解しやすいと考えられる。